

いわた減災ネットワーク連絡会（磐田市）

市民活動センターが中心となった 減災ネットワークの広がり

組織概要

- 市内で防災活動をしている市民団体や防災に関心ある個人、事業者と行政の地域防災担当課、健康増進課、磐田市社会福祉協議会をメンバーとして設立（平成27年4月）。定例会を開催し、情報交換や課題抽出、課題解決への意見交換をしている。
- 地域防災に関する相談や避難所運営訓練への協力、地域サロン、学校での防災教室等からの依頼により、出前講座を実施。
- メンバーの要望により、視察研修を実施。

きっかけ・課題

- 磐田市市民活動センターでは、さまざまな市民活動団体が利用登録をしている。
- 防災に関する活動団体は複数あるものの、全体で連携が取れていない状況にあった。
- 社会教育活動をしているボーイスカウトに相談しながら、センターの担当課とともに1年の準備を経て、設立。

取組概要

- 定例会（毎月1回）を開催し、情報交換（困りごと、課題、解決へのアイデア出し等）、出前講座の依頼状況と対応、活動報告、今後の活動予定等を話し合うほか、出前講座や相談も行う。
- 「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を実施している磐田市社会福祉協議会とともに、令和3年3月に「災害ボランティアコーディネーター連絡会」（略称：災ボコ連）の設立に協力した。これは、磐田市社協が、以前から、災害ボランティアコーディネーター養成講座修了生が、平時にも主体的につながり学び合う場があればと、考えていたためである。
- 令和4年度市内での水害と土砂災害の際には、これまでのつながりが活かされることとなり、災害ボランティアセンターの立ち上げにも協力。
- また、令和4年6月には防災活動への女性参画に課題を感じていた磐田市自治会連合会防災部会に向けて、研修用オリジナルワークシートを作成。減災ネットの女性会員が講師を務め、実践したことにより、防災部会役員の中に女性参画の必要性が伝えられた。これをきっかけに、同年12月の地域防災訓練では減災ネットが中心となって、自治会と市内の女性防災リーダーが連携した訓練を行うことができた。
- 令和5年度は、市民活動センターと磐田市ダイバーシティ推進室が協働で、防災活動への女性参加推進のためのワークショップを開催。

ポイント！

- 女性が参画したことで、自治会連合会とのつながりが生まれ、女性の視点を意識し始めた地区長や防災会長が現れてきている。
- 振り返って特に重要だったと思うことは、次の4つ。
 - ①さまざまな立場の人とのつながり・交流
 - ②活動依頼状況や他団体の活動状況の様子を知ること
 - ③市政の動向を知ること
 - ④磐田市社会福祉協議会との連携を大切にすること

団体連絡先

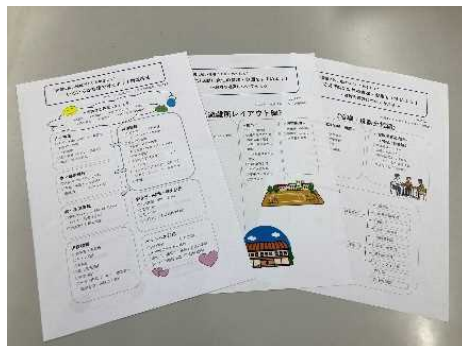
- いわた減災ネットワーク連絡会(略称：減災ネット)
- 事務局：磐田市市民活動センター内
- 連絡先：0538-36-1890
- メッセージ：“ともに学び、ともに活動しようとする人たちとのつながりづくりを大切にしましょう！”

いわた減災ネットワーク連絡会（磐田市）

取組の写真

磐田市自治会連合会防災部会研修

令和4年9月7日



オリジナルシート

今之浦地区地域防災訓練

令和4年12月4日



いわた減災ネットワーク連絡会（磐田市）

【いわた減災ネットワーク連絡会の構成】

